



けやきっ子

六栄小学校だより 第8号 令和7年6月6日(金) 文責：久保田 真二



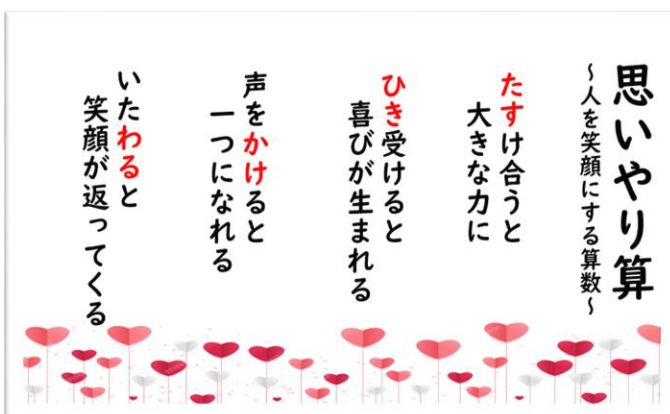
学校ホームページ
もご覧ください

「おもいやり算」をどんどん使いましょう

6月4日(水)に全校集会を行い、校長から子どもたちに「思いやり算」について話をしました。「思いやり算」というのは、算数の四則をアイデアに「思いやり算」を使うと誰もが笑顔になれますよというものです。「+」はたし算、「-」は引き算、「×」はかけ算、「÷」はわり算です。「+」は**助け合う**、「-」は**引き受ける**、「×」は**声をかける**、「÷」は**いたわる**ということです。子どもたちには「思いやり算」を紹介した後、「友達が転んで怪我をした時には、どの計算を使ったらいいかな?」「友達がいじめられていたら、どの計算を使ったらいいかな?」などと具体的な場面でどの計算を使ったらよいかを考えさせました。子どもたちは真剣に考え、「この場面では、この計算が使えるね」などたくさんの意見が出されました。

学校生活での子どもたちの様子を見てみると、友達への優しい言動もたくさん見られますが、時に、友達を傷つける言動も見られます。特に、言葉づかいで気になるものもあります。命を粗末にするような言葉、身体的なことをからかう言葉、能力的なことを卑下する言葉等です。このような言葉が少しでもなくなれば、六栄小学校はもっと安心できる学校になります。

さて、6月は人権月間です。保護者の方にも「おもいやり算」を知っていただき、日常生活の中で「こんな時は、どんな計算を使うと思う?」とか、「今のは、思いやり算の引き算が使えたね」などと、会話のきっかけにいただけたらと思います。このようなちょっとした会話でも、子ども達は人権の大切さを学び取っていくと思います。



健康と体力向上に向けて～スポーツテストにもがんばる子どもたち～



運動会が終わったと思ったら、今週はスポーツテストがありました。50m走、ボール投げ、立幅跳び、シャトルラン、長座体前屈、反復横跳び、握力など、さまざまな検査種目に頑張っていた子どもたちでした。1年生は初めての体験でしたが、6年生が1年生に付き添いながら、優しく関わっている姿が印象的でした。健康と体力の向上にむけて頑張っている六栄小学校の子どもたちでした。



5月31日(土)の早朝から立野地区の有志の方々と教育委員会の方が来校され、美化作業が行われました。植込みの剪定、草捨て場の整理、土手の手入れなど、学校が更になりました。ご多用にもかかわらず、学校美化にご協力いただきありがとうございました。

六月の生活目標
けやきっ子宣言を守って、
一人一人にとって楽しい学
校にしよう。